

平成 26 年度 新たな地域コミュニティ支援事業にかかる期末評価結果

(ア) 取組実績の評価 (1) 事業の実施状況の評価

評価項目

1. 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組
  - (1) 「地域課題への取組」にかかる支援の実施状況
  - (2) 「つながりの拡充」にかかる支援の実施状況
  - (3) 「組織運営」にかかる支援の実施状況
  - (4) 「区独自取組」にかかる支援の実施状況

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災点検まち歩きの実施を支援することにより、地域課題やニーズの把握につながった。</li> <li>・ ホームページの運営支援やかかわら版の作成支援等による地域活動協議会の広報活動を支援することにより、地域住民同士のつながりが拡大された。</li> <li>・ 防災点検まち歩きの実施支援、地域活動協議会構成団体長会議や、小学校下における井戸端会議や小学校土曜授業への参画により、地域活動協議会を構成する活動主体同士等の連携協働が促進された。また、市民協働スペース「旭まちづくりサロン」の開設運営により、地域活動団体の活動支援が図られた。</li> <li>・ 総会等の開催支援、会計ソフトの提供等による会計担当者への支援、ホームページの運営支援やかかわら版の作成支援により、民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保された。</li> </ul>

(イ) 取組実績の評価 (2) 事業の実施体制等の評価

評価項目

1. 自由提案による地域支援の実施状況
2. スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制
3. フォロー（バックアップ）体制等
4. 区役所との連携

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロボノ活用により地域活動協議会のフェイスブックページが立上げられた。また、市民協働スペース「旭まちづくりサロン」の開設運営が円滑に行われた。</li> <li>・ 事業実施体制は、本区の求める水準に達していた。</li> <li>・ 連絡調整のため会議を定期的に行い、区との連携が図られていた。</li> </ul>

(ウ) 取組効果の評価 目標等の達成状況の評価

評価項目

1. アンケート調査
2. 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組
  - (1) 地域課題への取組の達成状況
  - (2) つながりの拡充の達成状況
  - (3) 組織運営の達成状況
  - (4) 区独自取組の達成状況
3. その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート調査の結果は、まちづくりセンターの支援が役に立っているとの回答が概ね目標に達した。</li> <li>・ 防災点検まち歩きの実施を支援することにより、地域課題やニーズの把握につながった。</li> <li>・ ホームページの運営支援やかかわら版の作成支援等による地域活動協議会の広報活動を支援することにより、地域住民同士のつながりが拡大された。</li> <li>・ 防災点検まち歩きの実施支援、地域活動協議会構成団体長会議や、小学校下における井戸端会議や小学校土曜授業への参画により、地域活動協議会を構成する活動主体同士等の連携協働が促進された。また、市民協働スペース「旭まちづくりサロン」の開設運営により、地域活動団体の活動支援が図られた。</li> <li>・ 総会等の開催支援、会計ソフトの提供等による会計担当者への支援、ホームページの運営支援やかかわら版の作成支援により、民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保された。</li> </ul>

(エ) 総合評価

- ・ 上記の評価を踏まえ、総合的に評価

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域課題やニーズの把握及び共有、地域活動に関わりの薄かった住民の参加促進、地域住民同士のつながり拡大、地域活動協議会を構成する活動主体同士等の連携協働促進、民主的で開かれた組織運営と会計の透明性の確保、区内における地域活動活性化支援が有効に実施されたことを評価する。</li> </ul>

(評価基準)

- S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
- A：本市の求める水準以上の効果が得られた
- B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
- C：本市の求める水準の効果が得られていない